

子育てアドバイス

成長のワンステップ

『人見知り』

人見知りが激しくて、
情けなくなってしまう
ことも・・・

でも安心して下さい。
それは順調に育っている証
です。子どもが人見知りを
すると、困ったことと否定
的に考えるお母さんが多い
ですね。でも本当は、子ど
もが知っている人と知らない
人を見分けることができ
るようになり、そのこと
を感情と行動で表現できる
ようになっただけという意味で、
とても喜ばしいことな
のです。



特に久しぶりに会うおじ
いちゃん、おばあちゃんに
対して人見知りをされると、
自分の育て方が悪いかのよ
うに責任を感じるお母さん
もいます。子どもと母親は、
どんなに毎日一緒にいても
別な人格であることを、自
覚していないのは母親なの
かもしれません。

2～3歳の子どもは、人
見知りに場所見知りをして、
新しい場所と初対面の子ど
もに慣れるまで、お母さん
から離れられないのは自然
なことなのです。子どもは
慣れて安心できるまで、自
分を保護してくれる心強い
母親に見守ってほしいので
しょう。このとき、子ども
を早く離そうとすると逆に
不安を強くし、ますます離
れられなくなります。

遊びの仲間入り・・・

さて、この時期は、公園
デビューをする頃ですが、
他の子ども達とのふれあい
なども、お母さんのちょっ
としたお手伝いでスムーズ
にいくことが多いのです。
まず、お母さんが童心に
返って、子どもと一緒に
「あそび」と遊びの仲間入
りをしてみることで、子
ども同士の橋渡しをするの
に最善の方法は、お母さん
と一緒に遊ぶことです。他
の子どもに対するお母さん
の「人づきあい」を見て、
子どもは人づきあいのマ
ナーとルールを覚えていき
ます。多くのことが初体験
の子どもにとって、遊びも
また、目の前にお手本があ

れば見よう見まねでからだ
で覚えていくのです。親や
自分より大きな人たちに相
手をしてもらったり、遊ん
でもらっていた子どもが、
同年齢の子ども達と対等な
関係で一緒に遊ぶのは、意
外と難しいことなのです。
お手本と繰り返し経験が
大切です。

かつては子どもの遊び場
に行けば、大きな子どもか
ら小さな子どもまでが交じ
り合って遊び、大きな子の
リードで遊び親の出る幕は
なかったのですが、最近は、
3～4歳で保育園や幼稚園
に入る子が多く、大きな子
が遊び場に居なくなってい
まい、親が代わりをする必
要がでてきたのです。

奇声を発する・・・

言葉を使いこなすまで
の感情表現

小さな子どもが、喜怒哀
楽の表現として、高音の奇
声を発することはよくあり
ます。「とても嬉しい」「す
ごく悲しい」といった最大
級の感情を表現する言葉を



使いこなすことができるま
で、自分の思いをありった
けの音声を張り上げて叫ぶ
ときがあるのです。感情を
表現する言葉を手にいれる
まで、声を使い分けて泣く
のと同じです。いずれも成
長の過程で一時期起ってい
る証のようなものです。
言葉がよくでてきているら
ば、ゆっくり話を聞いてあ
げ、楽しさ、嬉しさ、悲し
さなどを子どもと共に関わ
るのも良いでしょう。感情
の高ぶっているときは、少
し落ち着いてから話すのが
良いでしょう。

子育て支援センター

☎5212315